

学校だより



# 平沼

横浜市立平沼小学校

平成31年1月31日

Mail ; y3hiranu@edu.city.yokohama.jp

URL ; <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/sch/es/hiranuma/>

## 子どもと向き合う

副校長 加藤 智敏

私たち教職員は、授業中に発言している姿やノートに表された一人一人の児童の考え、また、学校に登校したばかりの時の表情や給食を食べているときの会話の様子、あるときは漢字ドリルや計算ドリルに書かれている文字や数字の揺れ等々、その時その時の子どもの様子や変容を様々な場面をつぶさに見とり、学習に活かしたり、次の活動につなげたりすることをいつも大切にしています。今、子どもがどのような状態にあるのかを把握することが、次の声掛けや子どもをよりよく伸ばすことにつながるからです。

今年度、平沼小学校では対話的な学びを大切にし、子どもの主体性の育成と相手意識の向上をめざして研究を進めてきました。

1月25日には、國學院大學教授の安野功先生をはじめとし、青山学院大学講師の柳下則久先生、関東学院大学准教授の藤馬享先生、鎌倉女子大学准教授の堀江邦子先生、大塚俊明先生、横浜市教育委員会事務局指導主事の先生方、横浜市立小学校の校長先生方を講師・来賓にお招きし、公開授業研究会を開催いたしました。学年で1学級、計6学級が授業を公開し、県内外から100名を超える小学校、中学校の先生方、幼稚園・保育園、大学、諸関係機関の方々にお越しいただき、ご指導をいただきました。

家庭生活や学校生活での自分の成長を振り返り、自分の育ちや学びをとらえることができた低学年。学区にある企業をとりあげ、工場で働く人々の工夫や苦勞、こだわりについて考えた3年生。三浦にある小網代の森の保全にかかわる人々をとりあげ、神奈川県における自然環境の保護・活用について学んだ4年生。高度経済成長とともに北九州の工業地帯に起こった粉塵被害から学校が閉校した事実を取り上げ、今後どのような社会参画が大切になるかを学んだ5年生。平沼橋にエレベーターが設置された事実をもとに、地域の願いがどのようにして実現していったかを地域の人々をはじめ、多くの人に取材しながら学んだ6年生。常に本物に触れ、生の声を聴き、自分の学びにつなげていく姿が見られました。また、常に友達と協働的に学び、話し合い、問題解決していこうとする姿を見ることができました。多くの参会者の声からも、子どもたちの育ちを確認できた一日でした。

このように日々少しずつ変容していく子どもと向き合い過ごしていくことが、私たちの喜びであるとともに、保護者の皆様、地域の皆様と是非とも分かち合いたいことでもあります。この喜びの共有が、学校、家庭、そして地域をよりよいものにしていくのではないのでしょうか。

今年度も残すところ、あと2か月となりました。これまでも、今まで以上に、皆様からのお支えをいただきました。子どもたちのよりよい育ちは、日頃よりご支援とご協力をお寄せいただいている皆様方のお力添えのおかげと、教職員一同深く感謝いたしております。感謝とともに、さらなる本校の教育活動への参画並びにご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。